

2008年11月吉日

お取引先各位

エコ・システム株式会社
取締役社長 松谷友文

『京セラファインセラミック』のリコールについて

拝啓 貴社ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

別紙、添付の京セラ(株)よりの報告書にありますように、京セラファインセラミック絶縁基板に「クラック発生」のリコールが発生いたしました。大変ご迷惑をお掛けしている事をお詫び申し上げます。

原因

京セラファインセラミックに『熱衝撃』が蓄積されることにより「クラック」が発生することが判明致しました。

対策

ファインセラミックの素材の変更 新素材 ベータースポシユメン

対象商品

・京セラマルチプレート ・京セラミニプレート

弊社及び京セラ様と致しましては至急「不具合品」を良品と入れ替えをさせて頂きたく存じます。

お客様へはご連絡と謝罪を頂き、新品交換のご協力お願い申し上げます。

* また京セラマルチプレートに関しましては新型へに変更いたします。
(別途参照)

誠に、ご迷惑お手数をお掛けいたしますが、宜しくお願ひ申し上げます。

敬具

2008年10月23日

エコシステム株式会社

代表取締役

吉本 浩悠基 様

京セラ株式会社

宝飾応用商品事業部

応用商品部 責任者

橘 三郎

『 絶縁がー基板 [βスポジューメン N-11] の品質に関して 』の件

拝啓 貴社ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、首記の『 絶縁がー基板 [βスポジューメン N-11] 』の品質に関して、弊社としての見解をご報告申し上げます。

先日、対策品として納入致しました評価用試作品を、貴社にて電極板に実装頂き、10月7日～10日 4日間 貴社の「フライヤー」にて耐熱テストと熱衝撃テストを繰返し実施頂きました『絶縁がー基板 [βスポジューメン N-11]』を貴社より送付頂き、弊社にて基板の「割れ・クラック」等をレッドチェック検査で確認致しました結果、全く品質的異常は認められませんでした。

この結果より、天ぷら油の使用温度【 180℃ 】のフライヤーにて、実用されても『絶縁がー基板 [βスポジューメン N-11]』は、耐熱及び熱衝撃的には充分耐えうる製品と判断いたします。

この『絶縁がー基板 [βスポジューメン N-11]』の材料は、耐熱性及び熱衝撃強度に大変優れた材料です。またこの材料については熱的負荷による時間的経時変化等も一切御座いません。

今回は、4日間と言う期間に於ける結果ではありますが、念のために引き続き時間的経時変化の確認は進めて参りたいと思っております。

以上宜しくご査収の程お願い申し上げます。

敬具

[記]

- 1)。 材質： βスポジューメン N-11 の 熱的特性
- * 最高安全使用温度 連続 800℃ 短期 900℃
 - * 熱衝撃強度 600℃

以上

